

令和6年(2024年)3月1日
越谷市

公共施設への実質再生可能エネルギー由来の電力の導入について

越谷市(市長:福田 晃)では、2024年3月より、地区センターや小中学校を含む74の公共施設に実質再生可能エネルギー由来の電力(以下「実質再エネ電力」)の導入を継続いたします。

埼玉県東南部地域5市1町(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)では、2021年4月に、「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行い、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを宣言しました。

越谷市では、ゼロカーボンシティの実現に向け、公共施設における二酸化炭素排出量削減の検討を行い、2023年3月から実質再エネ電力の導入をしております。

今後も2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、さまざまな取り組みを推進してまいります。

1 導入時期

2024年3月1日~2025年2月28日

2 導入施設

地区センター・公民館(10施設)、市民会館(2施設)、交流館(4施設)、斎場、小中学校(44施設)、給食センター(3施設)、公園施設(6施設)、体育館(4施設)

3 供給業者

コスモエネルギーソリューションズ株式会社、株式会社V-Power

4 電力使用量

約1,430万kWh(全公共施設の総電力使用量のうち約37%相当)

5 導入による温室効果ガス削減効果

約6,450t-CO₂の削減

※本取組による温室効果ガスの削減量を一般家庭が1年間に排出する二酸化炭素排出量に換算すると、約2,370世帯分に相当します。

【本件に関するお問い合わせ先】

越谷市 環境政策課 TEL 048-963-9183